

平成26年1月28日(火)
国土交通省関東地方整備局
京浜港湾事務所

記者発表資料

横浜港南本牧ふ頭でニューマチックケーソン工法を用いた「橋脚基礎据付工事」のプレス向け見学会を実施します。

横浜港南本牧～本牧ふ頭地区臨港道路は①コンテナが集中する本牧ふ頭と南本牧ふ頭間のアクセスの向上②背後に走る首都高速湾岸線との接続を円滑にすることによる輸送力の強化③島式ふ頭である南本牧ふ頭へのアクセス道路を複線化することによるリダンダンシーの確保を目的として整備を進めており、国際コンテナ戦略港湾「京浜港」の集荷力向上を実現します。

この度、海上橋梁部の橋脚整備にあたり、ニューマチックケーソン工法を採用した「橋脚基礎」の据付を下記のとおり実施します。併せてプレス向け見学会を2月5日(水)に開催致しますのでお知らせします。

記

日程： (P3橋脚) 平成26年 1月30日(木)
(P2橋脚) 平成26年 2月 5日(水)【プレス見学会(現地取材)】

場所： 横浜港南本牧ふ頭

※据付実施日は、工事工程・天候等の影響により順延する可能性があります。

※現地取材をご希望される報道関係者の方は、平成26年2月3日(月)18:00までに所定の取材申込書を用い、FAXまたはMailでお申し込み下さい。

※プレス見学会当日に据付を行う部材は、P1～P3橋脚の中では最大規模となります。

以上

発表記者クラブ

神奈川県政記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、竹芝記者クラブ

【お問い合わせ先】

国土交通省 関東地方整備局 京浜港湾事務所 企画調整課

課長 みかみ あきら 三上 晃

係長 もりかわ ただやす 森川 忠泰

電話：045-226-3765、FAX：045-226-3756

位置図



ニューマチックケーソン基礎据付状況 (P1橋脚：平成25年6月7日撮影)

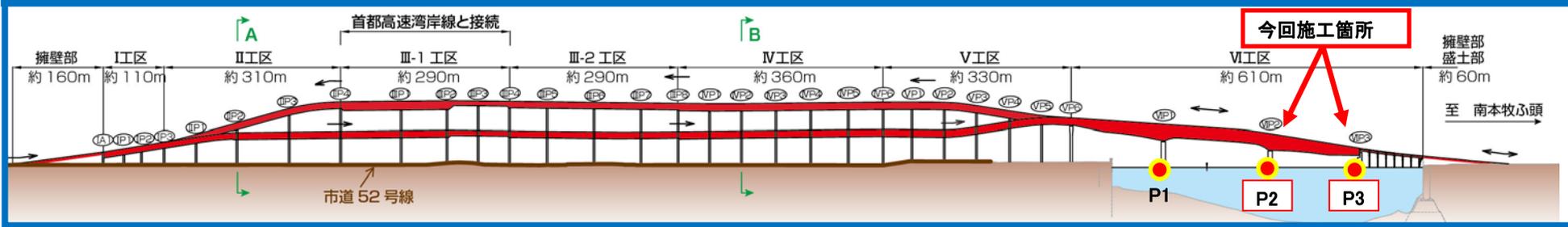


※ニューマチックケーソン工法

ケーソン下部に気密性の高い作業室を設け、空気圧により湧水を防ぎながら掘削作業を行い、所定の深さまでケーソンを沈設する工法です。

ニューマチックケーソン (Pneumatic caisson) の「Pneumatic」とは「空気の」、「caisson」は「潜函」という意味です。つまり空気を用いて函を沈めるということになります。

縦断図



取 材 要 領

【取材場所・日時】

場所 横浜港南本牧ふ頭内

日時 平成26年2月5日(水)12時30分～14時00分(予定)

【取材申込方法】

報道関係者の方々の安全確保のためヘルメット等を準備させていただきますので、取材に当たっては事前登録をお願い致します。取材を希望される方は、2月3日(月)18時までに、所定の取材申込書を用い、FAXまたはMailでお申し込みください。

FAX:045-226-3756

Mail:keihin-k83ab@pa.ktr.mlit.go.jp

(電話:045-226-3765)

担当:三上、森川

【集合場所及び集合時間】

場所 横浜港南本牧ふ頭内

時間 当日(2月5日)の12時15分～12時30分



【留意事項】

- ・悪天候等により工事を延期することがあります。この場合、事前登録された方に電話連絡致します。
- ・現地では係員の指示に従ってください。
- ・現地への移動は各自で行ってください。

横浜港南本牧～本牧ふ頭地区臨港道路 プレス見学会 取材申込書

返信先:国土交通省 関東地方整備局 京浜港湾事務所 企画調整課

FAX:045-226-3756

Mail:keihin-k83ab@pa.ktr.mlit.go.jp

申込期限:平成26年2月3日(月)18時必着

氏名 (全員の氏名を記入)	
TEL (代表者携帯電話番号)	緊急時(急遽の工事延期等)に連絡が可能な携帯電話番号をご記入ください。
FAX	
Mail	
所属記者クラブ	
報道機関名	
車種・車両番号	社用車等(タクシーを除く)でお越しの場合は、車種・車両番号をご記入ください。

【個人情報の御記入にあたって】

- ・ご記入いただきました個人情報は、今回の取材に関する管理、ご連絡のみに利用させていただきます。
- ・本返信状への個人情報の記入に関しましては、同意いただけた場合にのみご記入・ご返信をお願いします。

[問い合わせ先]

国土交通省 関東地方整備局
京浜港湾事務所 企画調整課

課長 みかみ あきら
三上 晃

係長 もりかわ ただやす
森川 忠泰

(電話) 045-226-3765